



<クラブ評価>

No	項目	内容
1	育成支援	子どもたちが安心して楽しく過ごせる「生活の場」としての環境を整え、豊かな「人間関係づくり」を通して、子どもたちの「成長」に寄与できるよう心掛けている。
2	配慮を要する子どもへの対応	家庭、小学校、関係諸機関との連携を密にして、全体の中で当該児童に寄りそった支援をおこなっている。また、保護者との懇談を密にしている。
3	運営体制	学童期の子どもたちの発達に寄りそいつつ、ふさわしい継続的な支援ができるように、法令に遵って適切な運営に務めている。
4	学校及び地域・保護者との連携	小学校、こども園、校下公民館等との連携を深め、地域に根差した児童クラブづくりをしている。保護者とは「連絡帳」「学年別懇談会」「月4回のおたより発行」等で日常的な連携を図っている。
5	施設及び設備・衛生管理及び安全対策	定期的に施設・設備の点検を行い、安全管理に務めている。衛生管理にも務めている。
	訓練実施回数	12回
6	質の向上	職員が学ぶことが「支援」のエネルギーになると考え、多くの職員が研修会に参加できるよう計画を策定している。また、「クラブ内研修会」や日々の「実践の記録検討」を通して職員のスキルアップを目指している。
	1人当り研修参加回数	4回
7	青少年の健全育成に向けた取り組み	周囲の環境を生かした遊びの導入、花植え・野菜作りを通して自然にふれること、毎日の「読み聞かせ」「読書」を通しての情操づくりを大切にしている。体力づくりのために児童向けの「運動遊具」を新設している。
	フローラルこまつ推進団体	○
	ボランティア活動実施回数	2回